

## 平成 21 年度 第 2 回長野市青少年健全育成審議会開催結果

1 日 時 平成 22 年 2 月 17 日 (水) 午後 3 時から 4 時まで

2 場 所 長野市職員会館 3 階会議室

3 出席者 委員 8 名 事務局 6 名

### 4 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

( 1 ) 平成 22 年度以降の青少年健全育成事業について

( 2 ) その他

4 閉 会

### 5 議事、質疑要旨

( 1 ) 平成 22 年度以降の青少年健全育成事業について

#### <資料に基づき事務局説明>

委 員 都市内分権により、住民自治協議会として活動をする地区はいくつになるのか。

事務局 1 月 1 日に合併した信州新町と中条も含め、32 地区である。

委 員 本格的な活動は来年度からということだが、組織づくりに取り掛かっているような先進的な地区はあるのか。

事務局 4 月から本格的にスタートするので、2 ~ 3 月に各地区で総会が開かれ、決定していく予定となっている。各地区では「青少年育成部会」や「教育文化部会」など、取り組みにより、部会の名称や構成が違っている。市ではそれぞれの動きを見ながら、地区の課題等を把握し、支援していきたい。

委 員 選任事務にある「市民の集い」のような集いに、これまでは動員がかかり参加していたが、今後は選任事務になるので、参加しなくてもいいと考えてよいのか。動員はかかるのか。

事務局 動員をかけるのではなく、自主的に参加していただけるような内容にしたいと考えている。進んで参加していただくのは大いに歓迎する。

委 員 そういう形式になれば良いと皆さんが感じると思うが、動員によってやっと参加するのが実情である。動員がかからない場合、今までのように人は集まらないと思うが、どうか。

事務局 10 月の青少年健全育成推進大会は、市民会館大ホールで 800 名ほどの市民に参加していただいた。ここ数年は動員という形ではなく、前年の各地区の実績から目安の人数を各地区に示し、参加していただいたという状況である。

来年度の会場は生涯学習センターを予定しており、地区の活動の実態を知ることや横のつながりができたり、地区での活動の参考になることを提供できればということも考えている。

委員 この4月から本格稼働ということだが、平成22年度は過渡期で、地域もどうやっていいのか分かっていないのが実情である。団体や委嘱制度の廃止などにより、地域が4月からの役員の選出に当たり、どうしていいかわからない部分もあるようで、22年度はやってみなければ分らないと、地域では感じている。地域の自主性を尊重することはいいことだが、まだ地域が力不足なところもあるので、22年度は過渡期という感じを受けている。

事務局 市としてもその過渡期に、何が一番いい支援なのか見極めながら対応したいと思っている。ただ、団体については、長野市全体の連合体は廃止になるが、地区の連合体はそのまま残るところもある。地区によって様々だが、取り組みを行いたいのが仕組みが変わるためにできないということのないよう、しっかり支援したい。

委員 地区が取り組みを一気に進めるのは難しいため、必要なところでは支援をしていただき、青少年健全育成がいい方向に推進するように支えていただくと捉えていいのか。

事務局 共に青少年健全育成を進めていくことができると考えている。

## (2) その他

委員 少年科学センターの工作室が、整然としていて冷たく殺風景に感じるので、もう少し夢のある部屋となるよう考えていただきたい。子どもたちが夢のある物を作りたくても構想が出てこないという意見をいただいた。

委員 少年科学センターの夢の劇場の上映時間について、センターに近い幼稚園などは10時半からでも間に合うが、遠い場合は11時からの方がよい。特に3Dの映画が流行っており、アニメも含め、子どもたちにも見せてあげたいと思う。

委員 少年科学センターは、子育て中によく子どもたちを連れて行き楽しい思い出があり、1日いても飽きない。幅広い年齢で楽しめる企画や行事を工夫しているようだが、周知の仕方については、広報ながのに掲載はしているが、一部分の枠だけでは見落としている方が多いと思う。

先ほどの視察でも、ロボコンの展示があり、実演を2月28日に行うと聞いたが、見落としていた。このような良いイベントは、もっと周知をしてたくさんの方に来場してもらえれば、入館料の値上げをせずに、もっと多くの皆さんに楽しんでいただけたらと思う。

また、幼児の利用者が増えているようなので、幼児が遊べるものをもっと増やすことも必要かと感じた。地区の子育てサークルで少年科学センターを勧めるが、小さい子が遊べるものがあまりないという声を聞いた。小さい子どもが平日にたくさん来るのであれば、その親御さんも来るだろうし、入館料収入も増えると思う。市民の皆さんが楽しんでいただける施設になってほしいし、私も宣伝したい。

広報ながので1ページを使ったり、割引券や特典をつけたり、市政テレビやコマーシャルで宣伝するなど考えたらどうか。また、城山動物園もあるので、一緒に少年科学センターにも足を運ぶような案内をしたらどうか。

事務局 情報提供については、広報ながのやホームページ、また、子ども情報誌「ホリデー」などで周知はしている。他にいい媒体があれば、ご教示いただきたい。また、就学前のお子さんへの情報提供をどうしたら一番効果的か、ご指導いただければと思う。